

「誤嚥性肺炎患者の自宅退院・施設退院・転院の方針決定に及ぼす因子の調査」について

加古川中央市民病院リハビリテーション室では、現在、当院呼吸器内科にて誤嚥性肺炎と診断され、かつ入院加療を受けた患者さんを対象に表題の研究を実施しております。その詳細は下記の通りです。

この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

誤嚥性肺炎は、令和 5 年厚生労働省人口動態統計によると死亡原因の 6 位(3.8%)ですが、死亡原因以外にも嚥下機能や栄養、ADL の低下、今までの生活が送れなくなるなど様々な問題を引き起こします。そのため、在院日数の短縮に向けて複数の専門チームによるケアの取り組みが積極的におこなわれています。

本研究の目的は、誤嚥性肺炎患者さんの退院調整先に影響を与える因子を明らかにする事です。それらが明らかになれば、誤嚥性肺炎で入院となった患者の後方連携の在り方やリハビリテーションプログラムにつなげられます。

【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2020年1月から2024年12月の間に、加古川中央市民病院呼吸器内科に入院し、誤嚥性肺炎と診断された患者さんの診療録より下記の情報を取得いたします。

- ・ 患者情報：診断名、年齢、性別、既往症、入院前の生活場所、入院前の介護度、入院前の Clinical frailty scale: CFS
- ・ 治療経過：在院日数、リハビリテーション処方の有無、リハビリテーションの進捗状況、入院からリハビリテーション介入までの日数、リハビリテーション処方からリハビリテーション介入までの日数、リハビリテーションでの離床状況
- ・ 退院時評価：身体機能(握力、4m歩行時間、5 回椅子たち座り試験、嚥下評価)、認知機能(MMSE)、退院先、退院理由

【個人情報保護の方法】

この研究ではプライバシー保護に配慮し、患者さんの情報は直ちに識別することができないように研究対象者識別番号リストを作成して加古川中央市民病院の鍵のかかる保管庫で管理します。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は責任をもって保管します。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 リハビリテーション室 責任者氏名：大西 伸悟

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。本研究への参加を通じて、同じあるいは類似の疾患を有する患者さんの治療後の経過予測や機能向上に役立つ可能性があります。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

[データの取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後は、少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがあります。その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、取り止めの申し出をされた時点で、すでに研究成果が学会や論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承ください。なお、同意の拒否および研究参加の取りやめによる不利益はありません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リハビリテーション室

研究責任者氏名 大西 伸悟

連絡先：079-451-5500